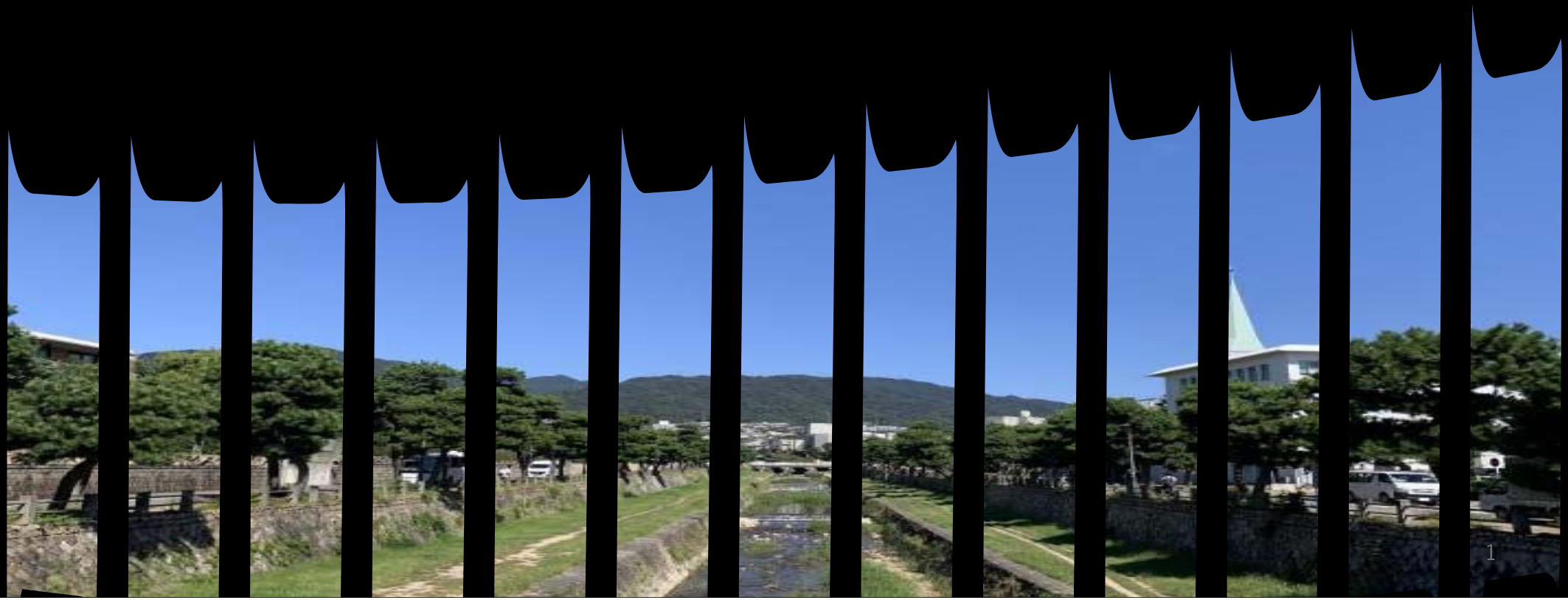
芦屋市部活動の地域展開について

学校支援課　社会教育推進課　スポーツ推進課



PART　01

これまでの
芦屋市の
部活動の地域展開
の取り組み

◇芦屋市立中学校の部活動の地域移行検討会議
及び
芦屋市立中学校の休日部活動の地域移行推進会議
の開催

◇担当課での連絡会議の開催
学校支援課、社会教育推進課、スポーツ推進課
＋中学校体育連盟担当校長

部活動の地域移行検討会議及び推進会議の開催

◇　参加者
市内中学校体育連盟校長や保護者代表、大学教授を含む有識者

◇　開催回数
令和５・６年度で８回

◇　開催目的
地域クラブへの移行に向けた課題等を抽出し、今後の進め方について芦屋市教育委員会へ助言をいただく。

部活動の地域移行検討会議及び推進会議にて各委員意見まとめ

①現状についての共通理解

・部活動は教育的価値が高いが、過度な負担や時間外労働が問題視されている。

・教員が必ずしも競技や活動の専門家でないため、教員の負担を軽減するためにも地域との連携を求められている。

・少子化が進行しており、学校ごとに部活動を維持するのが難しくなる可能性が高い。

・中学校の部活動を地域に移行するにあたり、混乱が生じることも懸念される。

部活動の地域移行検討会議及び推進会議にて各委員意見まとめ

②地域移行を進めるにあたっての課題

・指導者の確保や外部からの協力を得る必要があるが、予算面や人材不足が懸念される。

・中学校施設の使用も想定する必要があるが、管理方法について整備を進める必要がある。

・生徒数自体も減少傾向であり、地域で活動が存続できるか懸念される。

・平日の学校部活動、休日の地域クラブ活動の指導の一貫性を保ちづらいことが予想される。

部活動の地域移行検討会議及び推進会議にて各委員意見まとめ

③地域移行の進め方について

・生徒や保護者、教員への周知を徹底し、混乱を避けるよう配慮すべき。
（アンケートも必要だが、方針がないままの実施では混乱を招く。）

・まず移行のゴールを明確にし、そのための具体的なステップを設けることが望ましい。

・急激な移行をさけるために、検証事業を行う等、可能な取り組みをスモールステップで進めていくのが望ましい。

・移行により、こども達ができるようになることをわかりやすく示す。

所管課（中学校部活動地域移行連絡会議）での確認事項

地域移行の時期

◇令和5年2月15日
「令和8年度中（年度内適宜）休日の学校部活動については、
地域クラブ活動へ移行する。」と決定
◇令和6年11月28日
「令和８年度中（年度内適宜）休日・平日の学校部活動を終了し、
地域クラブ活動へ地域展開する。」と再決定

大切にしたいこと

生徒がスポーツ・文化芸術活動を通して成長する機会をつくること
生徒が放課後等に過ごすことができる居場所をつくること
生徒が自らの興味に基づいて選択し、活動する機会をつくること

部活動の地域移行検討会議及び推進会議にて各委員意見まとめ

④　今後の進め方について

・指導者のライセンス義務化は今後の取組を進める上で困難な条件であり、研修会実施が適切である。

・運営の統括について、外部団体への委託等の方法を検討する必要がある。

・早急に芦屋市として地域展開の方向性を定め、具体的計画の協議を推進会議で行っていくことが必要である。また、推進にあたっては、体制の充実が求められる。

PART　02

これまでの
芦屋市の
部活動の地域展開
の取り組み

地域展開に係る検証事業実施

令和6年度より部活動の地域移行が段階的に進みます

新たな地域クラブの設立について

国の部活動の地域移行の方針を受け、芦屋市では令和６年度より市内中学校の部活動にないスポーツを取り扱う新しい地域クラブ活動を発足することになりました。これまで、芦屋市で活動されている下記機関の協力を得て取り組みを進めます。
保護者の皆様におかれましては、お子様とよく相談いただき、生徒たちの新しい活躍の場となります「地域クラブ活動」への参加について、ご検討いただきますよう、よろしくお願いします。

1.バドミントンクラブ

実施主体：Ａ.Ｃ.芦屋ユナイテッド（芦屋市スポーツ協会）
活動場所：芦屋市立青少年体育館・青少年センター
活動時間：土曜日13時～14時45分（月２回）
会費　　：2,500円（１ヶ月）
特記事項：兵庫県中学校体育連盟に加盟しており、
中学校体育連盟の大会に出場することができます。
（中学校体育連盟の出場は一人１競技に限られます。令和６年度の
選手登録については中学校１年生に限ります。【選手登録〆切４月末】）
クラブについて

2.フラッグフットボールクラブ

実施主体：芦屋フラッグフットボールスクール
活動場所：芦屋市立潮見中学校グランド
活動時間：日曜日13時～15時（月２回）
会費　　：2,000円（１ヶ月）
特記事項：見学・体験OKです。全員に活躍できるポジションや役割があるスポーツです。女子部員も募集！
クラブについて

3.タブルダッチクラブ

実施主体：ロープリズム
活動場所：芦屋市立精道中学校ピロティ
活動時間：土曜日（月２回）
13時～14時、14時半～15時半
会費　　：1,500円／1日
持ち物　：動きやすい服装、飲み物、タオル等
クラブについて　申し込み

新たな地域クラブの入会方法について

・各中学校での部活動と兼ねて入会することもできます。
・申し込みについては、上記QRコードより直接申し込みください。その後の連絡についても、各クラブ事務局が行います。
・活動時間内についてはスポーツ安全保険が適用されます。（参加者負担：年800円/1年）
・中学校施設にて活動する地域クラブに参加する場合は、自転車の乗り入れ等は各学校のルールを順守してください。保護者の方の車の乗り入れ等は禁止とします。

【問い合せ先】芦屋市教育委員会　教育部学校教育室　学校支援課　TEL:38-2143

令和６年４月配信分チラシ

地域展開に係る検証事業について（学校部活動にない活動）

◇目的
　より多様な活動機会を生徒に提供するための実現可能性の検証

◇実施する地域クラブ及び対象人数（１月末現在）
　バドミントン（４名）
　フラッグフットボール（１名）
　ダブルダッチ（５名）

◇今後
　関係者に聞き取りを行い、今年度の検証事業の振り返りを実施する。

地域展開に係る検証事業について（市内中学校の休日の部活動）

◇目的
　地域指導者が生徒の技能向上に与える影響や、生徒の健康や安全に十分配慮した体制整備等に関する検証

◇実施する地域クラブ及び対象人数（１月末現在）
　精道中学校剣道部（１５名）
　山手中学校男子バスケットボール部（２１名）
　潮見中学校男子卓球部（１４名）

◇今後
　関係者に聞き取りを行い、今年度の検証事業の振り返りを実施する。

PART　03

これまでの
芦屋市の
部活動の地域展開
の取り組み

保護者対象の説明会実施

令和６年１２月２１日（土）開催
うちぶん（大会議室）

PART　04

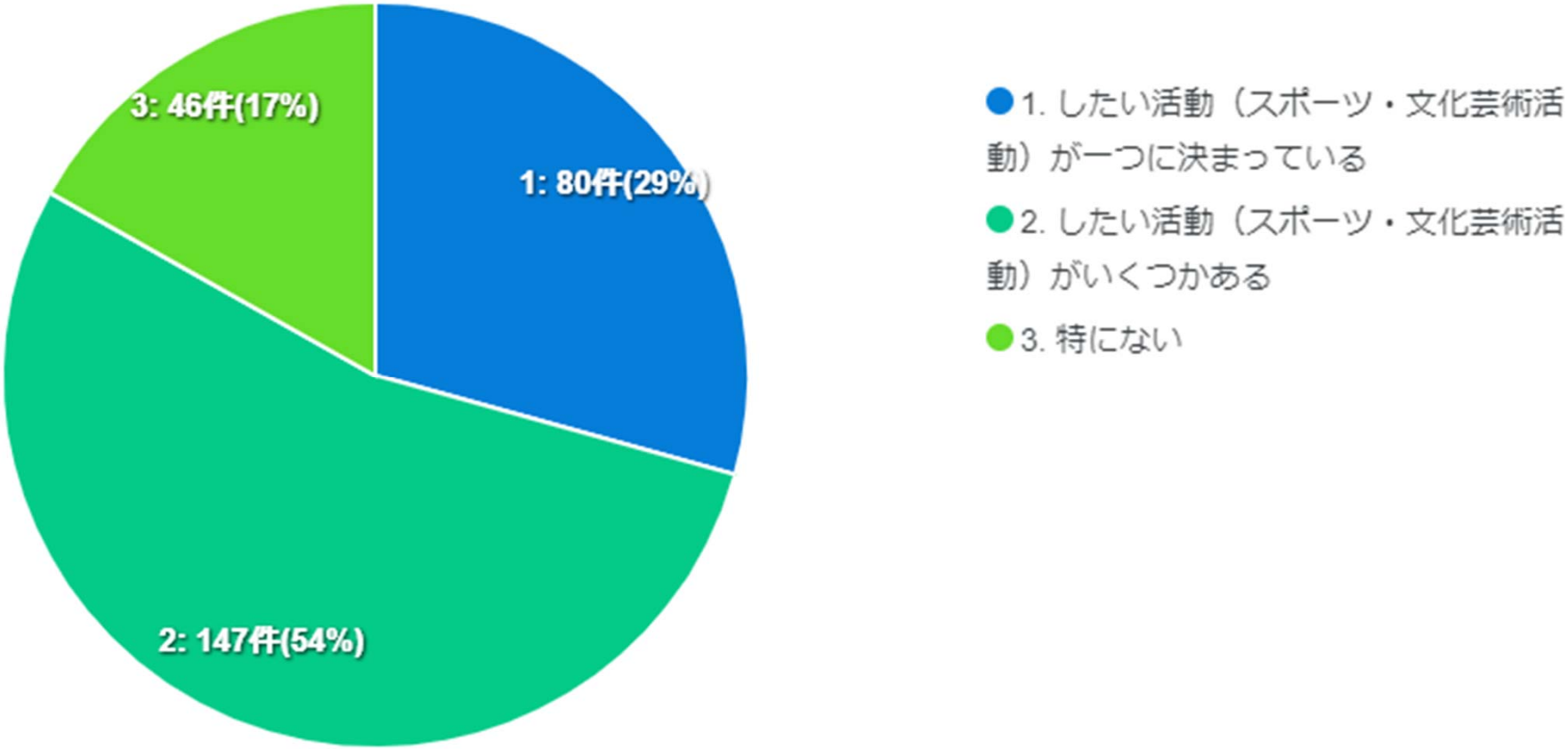
これまでの
芦屋市の
部活動の地域展開
の取り組み

児童アンケート実施

実施期間　令和７年３月
対象　小学校４・５・６年生
回答数　２７３人
回答率　１２．３％

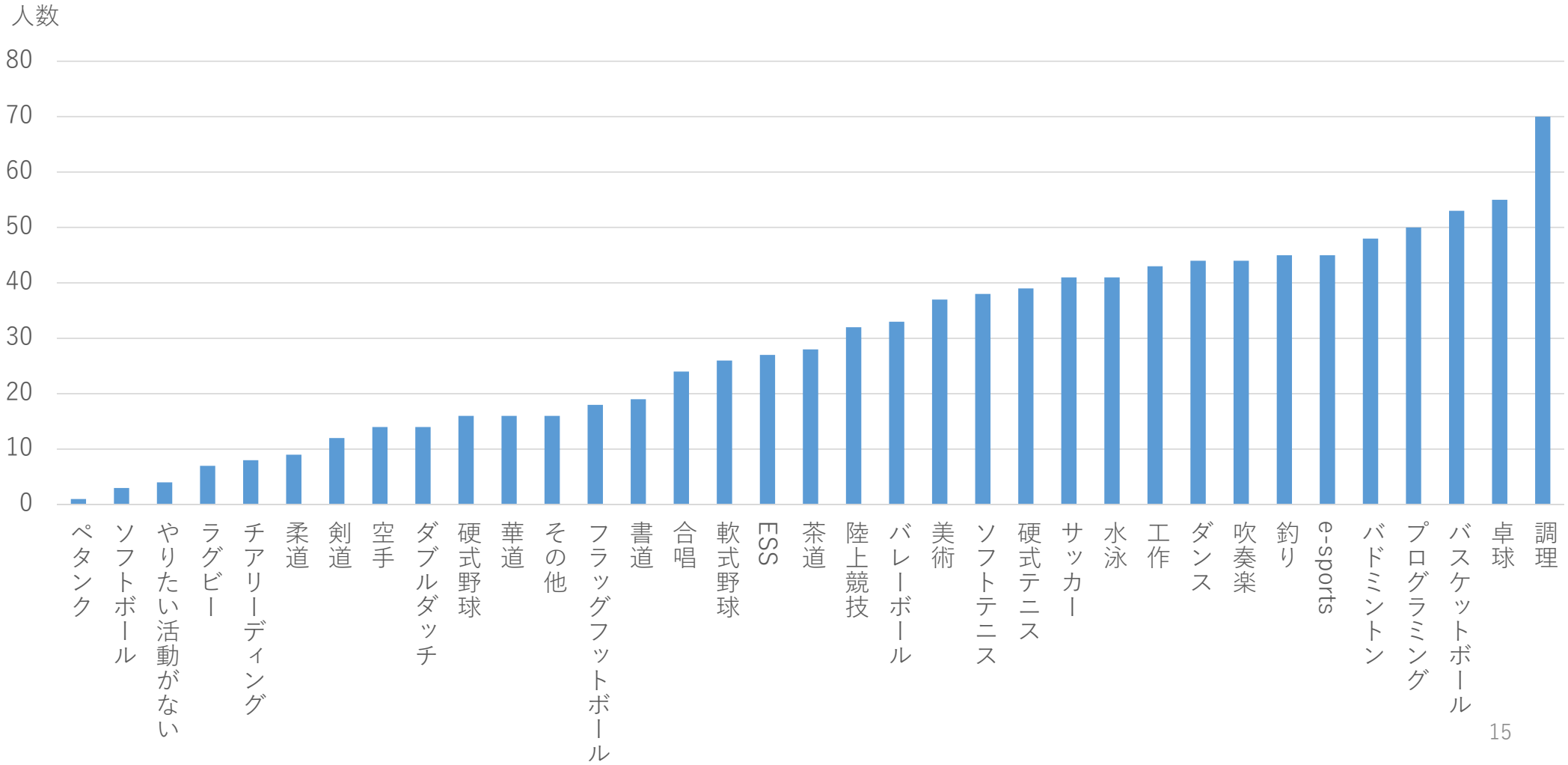
児童アンケート結果①

Ｑ１　中学生になってから放課後や休みの日に、勉強以外にしたいスポーツ・文化芸術活動がありますか。



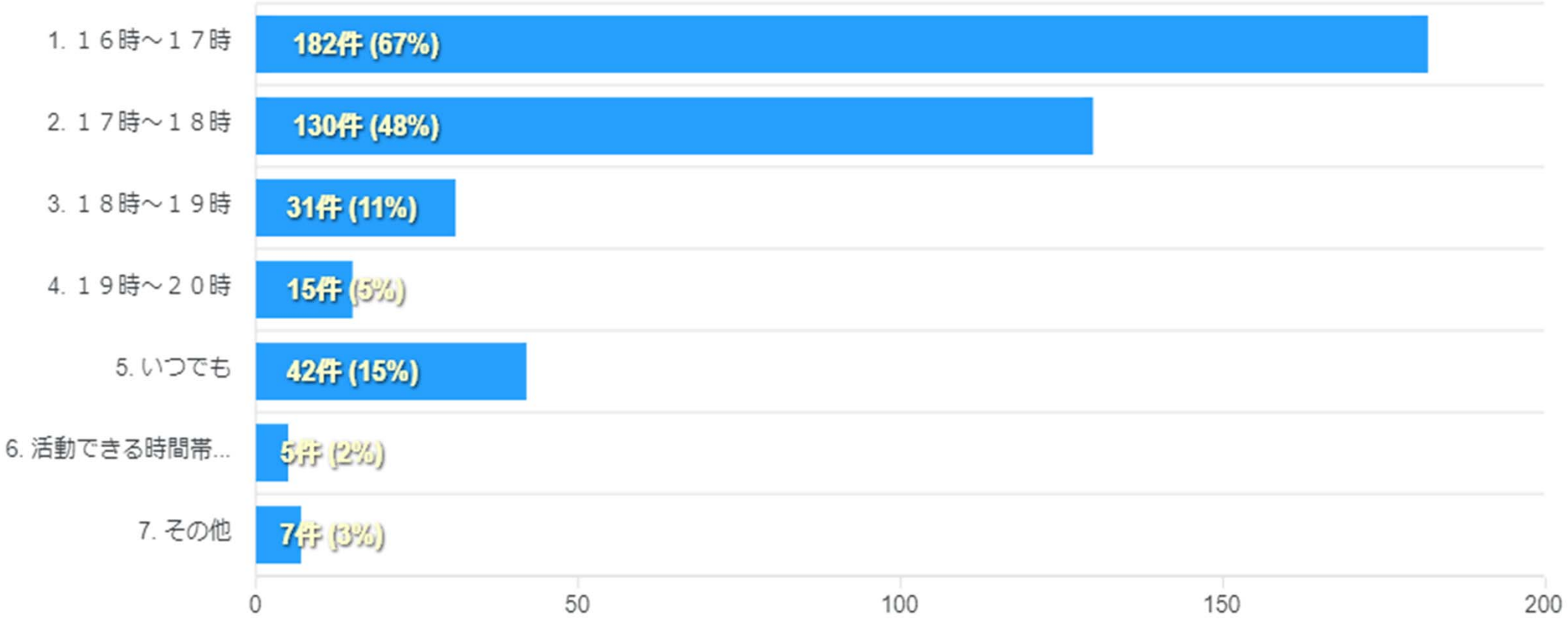
児童アンケート結果②

Ｑ２　今後やってみたいと思うスポーツ・文化芸術活動を教えてください。



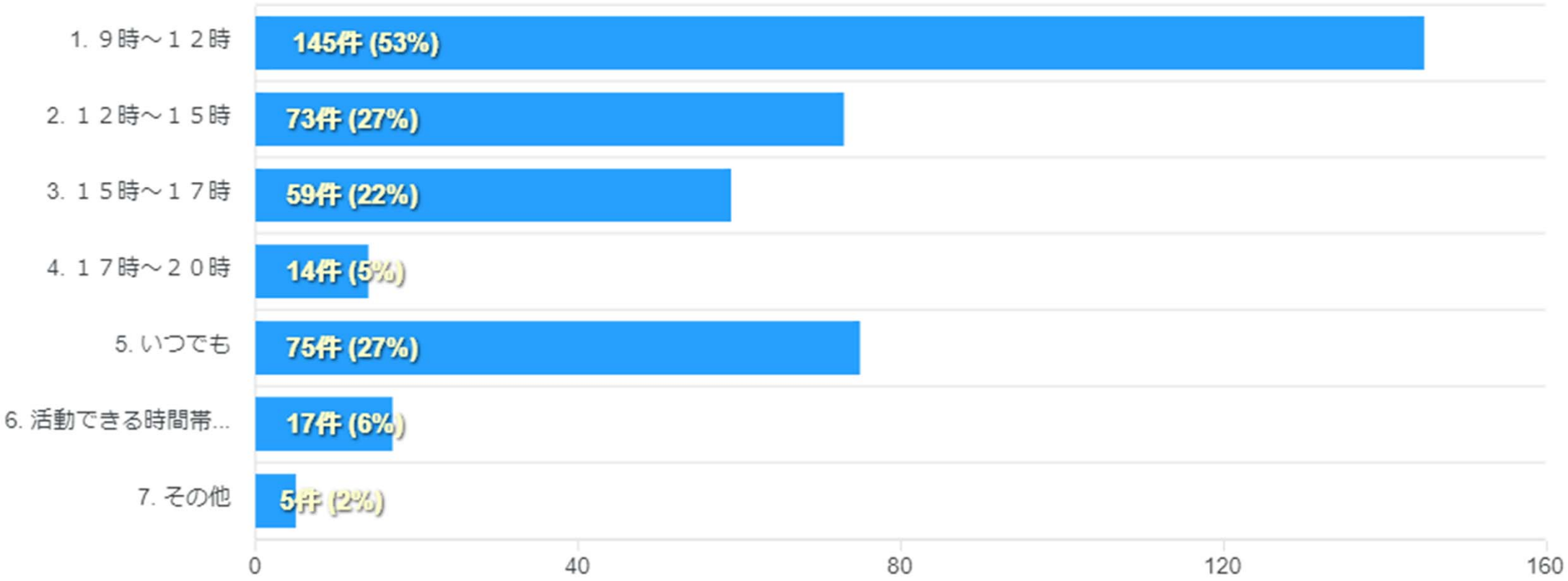
児童アンケート結果③

Ｑ３　平日のクラブに参加できる時間を教えてください。



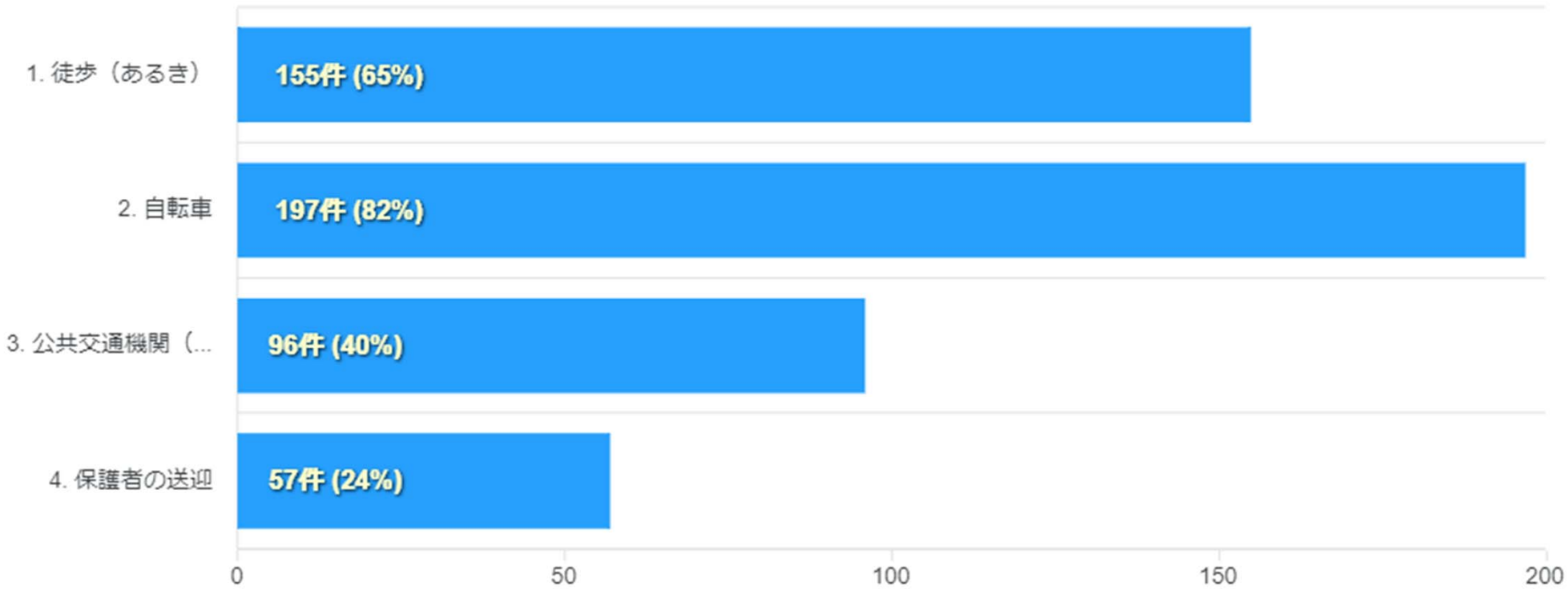
児童アンケート結果④

Ｑ４　休日のクラブに参加できる時間を教えてください。



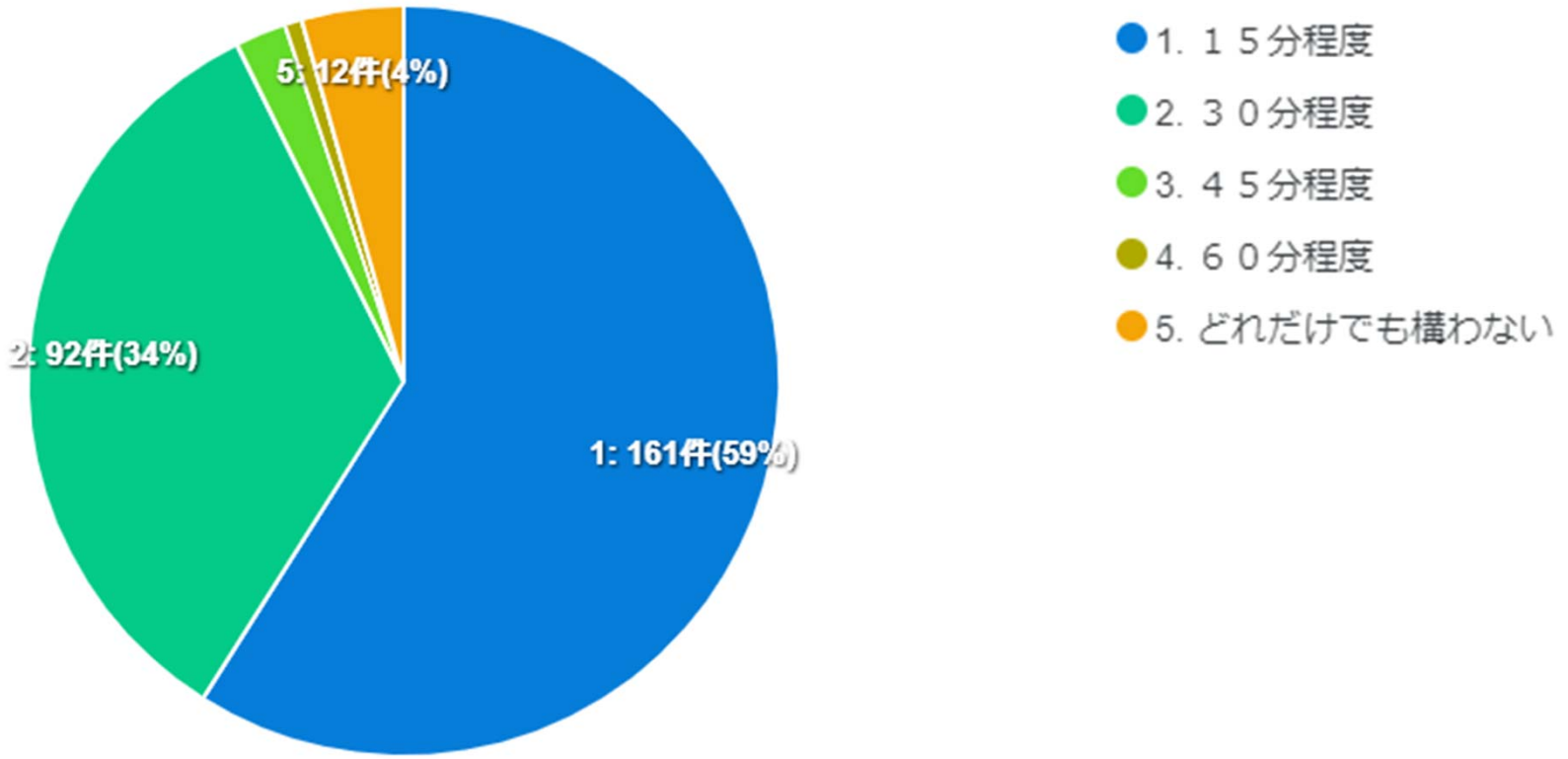
児童アンケート結果⑤

Ｑ５　クラブの活動場所が、進学する予定の学校ではない場所になった場合、どんな方法で通いますか。



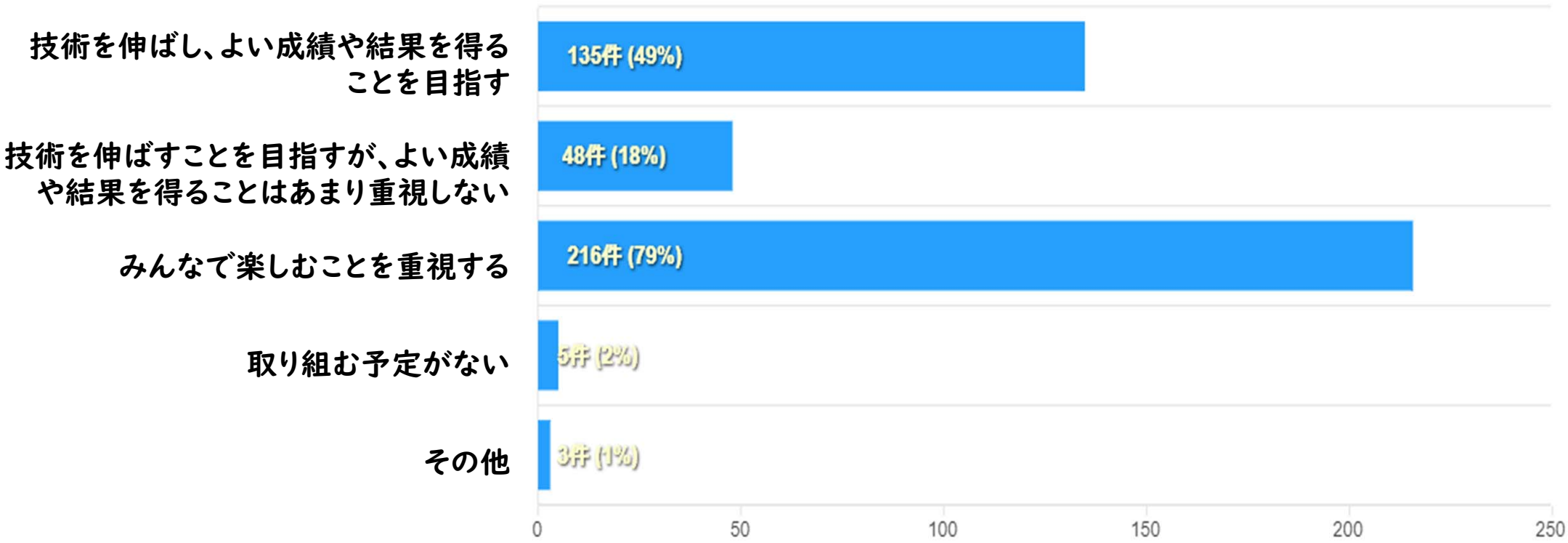
児童アンケート結果⑥

Ｑ６　自宅から活動場所までの移動について、どれくらいまでの時間をかけることが可能ですか。



児童アンケート結果⑦

Ｑ７　あなたは、どんな目的でスポーツ・文化芸術活動に取り組みたいですか。



PART　05

これまでの
芦屋市の
部活動の地域展開
の取り組み

今後のスケジュールについて（案）

令和7年度

日	事柄
4月～5月	芦屋市における地域クラブ活動に関する方針を公表
6月～8月	芦屋市における地域クラブの第1次募集開始
9月～12月	地域クラブの募集に係る申請団体の面接・認定
	以降第2次募集

令和８年度

日	事柄
7月～10月	中学校部活動の終了及び地域クラブ活動開始

スケジュールについて（イメージ図）

令和６年	令和７年	令和８年	令和９年以降
学校部活動			地域クラブの展開開始・運営
検証事業 【検証１】ダブルダッチ、フラッグフットボール、バドミントン 【検証２】剣道部、男子バスケットボール部、男子卓球部			
地域クラブへの展開準備			

学校

運動部11種目28部
文化部6種目12部
合計17種目40部
部活動加入率80.1%

地域

〇子どもがたくさん体験できるまち（案）

地域全体でこれまでになかった種目を含めたクラブを展開し、中学生が現在より多くの選択肢から取り組みたい種目や参加の仕方を自ら選び、活動する仕組みを作り、**子どものスポーツや文化芸術活動に継続的に親しめる環境づくりを目指す。**

これまでより多くの選択肢
自由な参加の形で